

行事報告

広域アジアものづくり技術・人材高度化拠点形成事業—CIS 活動報告(カタール)

広域アジアものづくり技術・人材高度化拠点形成事業 極限環境対応グローバル接合部門
特任准教授 勝又 美穂子

2015年8月21日~9月4日の期間で、カタール（ドーハ）において昨年度に引き続き2度目となるCIS(カップリング・インターンシップ)が実施されました。大阪大学外国語学部2名、工学研究科2名、カタール大学工学部4名、計8名の学生が参加しました。現地では2日間の事前研修を行い、学生は企業理念やコミュニケーションの講義、溶接基礎知識の教育(VTR)、問題解決の実習などを受講し、企業実習に備えました。25日からの5日間(週末除く)は、千代田アルマナ社(千代田化工建設の合弁企業)で企業実習が実施されました。

5日間の企業実習では企業紹介、安全講習、LNG(液化天然ガス)プラントエンジニアリングに関する各種業務の説明と、業務を体験するグループワークを含めた活動が展開されました。各講義はそれぞれ関連部署の担当者から行われ、学生からは初めての講義内容に対し、活発な質問が投げかけられました。また、LNGプラント地区(ラスラファン工業地区)の訪問やサブコントラクターへの訪問も行い、日本へ輸送されるエネルギー資源がどのような工程を経ているかを目にしました。企業実習中には日本大使館への表敬訪問、カタールに本部を置くスポーツ放送局(beIN Sports)の見学など、企業にアレン

ジ頂いた課外活動も大変充実していました。

9月2日に実施された最終報告会には、在カタール日本大使館津田特命全権大使、千代田アルマナ井川社長、カタール大学Mazen副学長、Rashid工学部長、本学外国語学部米田副学部長、各関係者の皆様、カタールマスコミ機関、カタール大学留学生などの参加がありました。CIS参加学生が実習中に取り組んだ課題は「グローバル化、多文化環境で働くこと」でした。この課題に対し、2週間に渡り、国籍、専門分野の異なる学生同士が真摯に向き合い、企業実習で学んだこと、自らの過去の経験、正に今経験している状況なども踏まえて協議し、熟考した成果を十分に発揮できた報告会となりました。発表後に企業からは「今回取り組んだ課題を踏まえ、今後の各自のキャリア計画について教えて欲しい」、その他「質疑応答のやりとりを見て学生が本実習に熱心に取り組む、互いの考えを深め合った事が良く伝わった」などのコメントがありました。

連日高い湿度の中、45度を超えるという厳しい気候でしたが、企業の活動については勿論、カタール社会・文化及び日本について活発に学び合い、学生同士強い絆を構築するという充実した実習になりました。

